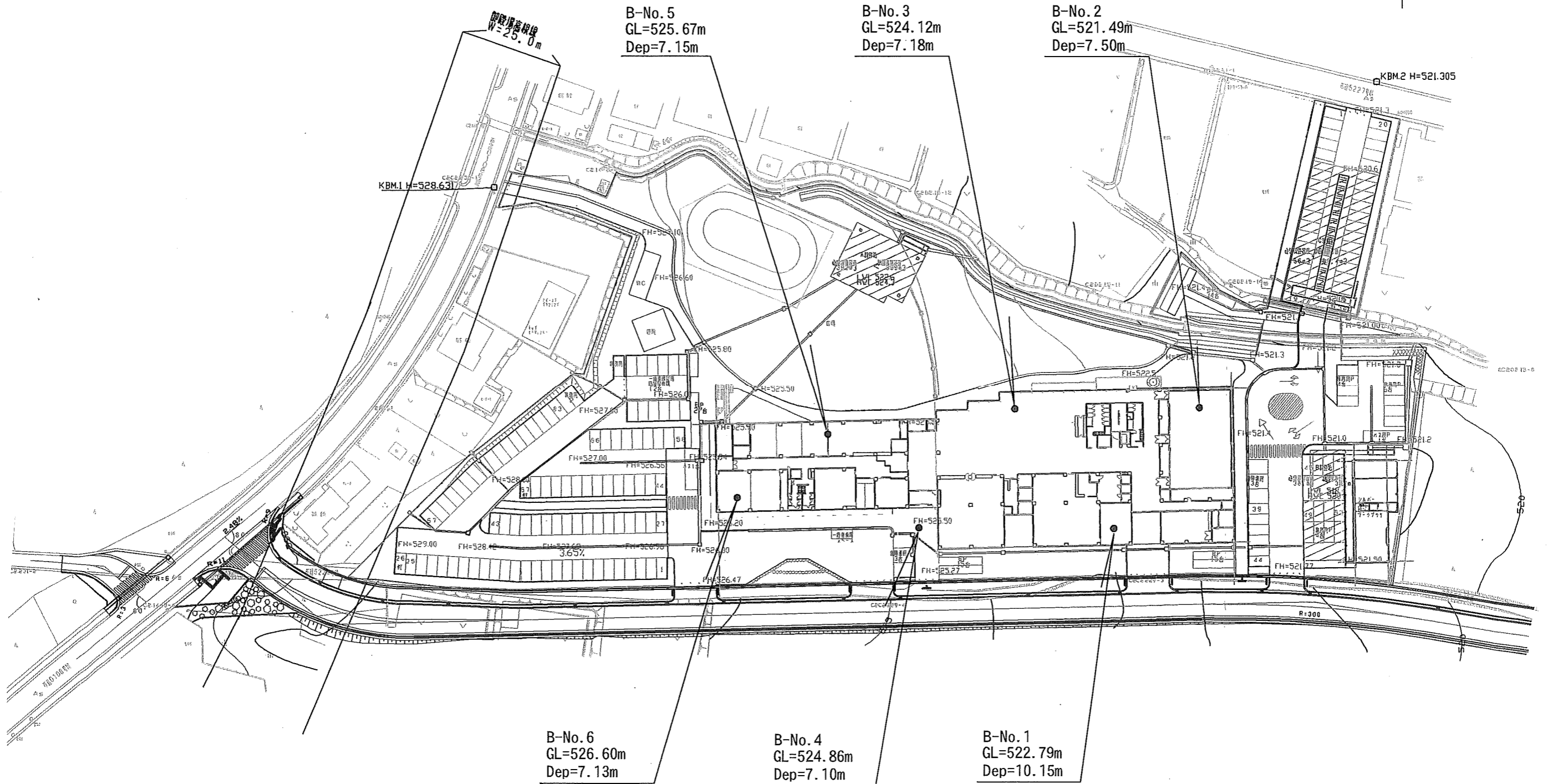


ボーリング位置図 縮尺 S=1/1000



ボーリング柱状図

調 査 名 交流センターセンターゾーン建設工事実施設計業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名 (地質調査業務)

シートNo.

調 査 名	B-No.1	調 査 位 置	静岡県 御殿場市 萩原 字 林頭 988-1 外			北 緯	—————					
発 注 機 関	御殿場市役所			調 査 期 間	平成 18年 5月 17日 ~ 18年 5月 17日		東 経	—————				
調 査 業 者 名	株式会社 桂設計 電話 (03-3269-6411)		主任技師	山西正朗		現 場 代 理 人	小澤幸司	コ ー ー 鑑 定 者	小澤幸司	ボーリング責任者	木伏誠	
孔 口 標 高	522.79m	角 度	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地 盤 勾 配	水平 0° 鉛直 90°	使 用 機 種	試 錐 機	KANO KR-100H	ハンマー 落下用具	半自動落下
総 掘 進 長	10.15m							エ ン ジ ン		NFD10	ポ ン プ	V-6.S

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位(m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原 位 置 試 験 深 度 (m)	試 験 名 および結果	試 料 採 取 深 度 (m)	試 料 採 取 方 法 号	掘 進 月 日	
											10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0	10							20
	522.49	0.30	0.30		表土	茶褐色			礫混りロームを主体とする。												
1					ローム質砂礫	茶褐色	ゆるい		径30mm以下の歪角〜角礫を主体とする。礫間充填物は、細〜粗粒な不均一砂およびロームより構成される。	5/17 2.40	1.15	2	2	2	6/30	6	1.15	1-1	○		
2	520.69	1.80	2.10								2.15	26	24	5	50/15	100	2.15	1-2	○	粒度試験	
3											2.30	50	3	50/3	500	2.30	3.03	1-3	Ⓐ		
4											3.03	50		50/0		3.50	3.50	1-4	Ⓐ		
5					玉石混り砂礫	茶褐色	非常に密な		径80mm以下の歪角〜角礫を主体とし、実測径150〜200mm程の玉石が混入する。礫間充填物は、細〜粗粒な不均一砂および少量のロームより構成される。		4.05			50/10	150	4.15	4.15	1-4	Ⓐ		
6									玉石は、長さ15〜20cm程の棒状コアで採取される。		4.15			50/0		4.50	4.50	1-5	Ⓐ		
7									深度6.30mより層厚20cm間は、細〜粗粒砂が挟在する。		5.00	貫入不能		貫入不能		5.30	5.30	1-5	Ⓐ		
8									深度9.00m以浅は玉石が連続して分布するが、以深は上部に比べ比較的混入量が少ない。		6.05	28	22	6	50/16	94	6.05	6.05	1-6	○	
9											6.21			50/0		6.21	6.21	1-6	○		
10	512.64	8.05	10.15								7.00	貫入不能		貫入不能		7.00	7.00	1-7	Ⓐ		
											7.00			50/0		7.50	7.50	1-7	Ⓐ		
											8.10	36	14	3	50/13	115	8.10	8.10	1-8	○	
											8.23	50		50/8		8.23	8.23	1-8	○		
											9.05	50		50/8		9.05	9.05	1-9	○		
											9.13			50/5		9.13	9.13	1-9	○		
											10.10	50		50/5		10.10	10.10	1-10	○		
											10.15					10.15	10.15	1-10	○	5/17	

ボーリング柱状図

調査名 交流センターセンターゾーン建設工事実施設計業務委託

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 (地質調査業務)

シートNo.

調査名	B-No. 2	調査位置	静岡県 御殿場市 萩原 字 林頭 988-1 外			北緯	———						
発注機関	御殿場市役所			調査期間	平成 18年 5月 17日 ~ 18年 5月 18日		東経	———					
調査業者名	株式会社 桂設計 電話 (03-3269-6411)	主任技師	山西正朗		現場代理人	小澤幸司	コア鑑定者	小澤幸司	ボーリング責任者	後藤 浩			
孔口標高	521.49m	角	180° 上 90° 下 0°	方	北 0° 270° 西 180° 東 90° 南	地盤勾配	鉛直 0° 水平 0°	使用機種	試錐機	YBM-05H	ハンマー	落下用具	半自動落下
総掘進長	7.50m	度	0°	向	180°			エンジン		NFD10	ポンプ		V-6.S

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位 (m) / 測定月日	標準貫入試験				N 値	原位置試験 深度 (m)	試験名 および結果	試料採取 深度 (m)	採取方法	室内試験 ()	掘進 月日
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	0							
	521.19	0.30	0.30		表土	茶褐色			礫混りロームを主体とする。	5/17 1.90	1.15	1/18	1/14	2/32	2		1.15	2-1	○	粒度試験	
1	519.99	1.20	1.50		ローム質砂礫	茶褐色	非常にゆるい		径30mm以下の亜角〜角礫を主体とし、礫間充填物は細〜粗粒な不均一砂およびロームより構成される。		1.47	32	18/4	50/14	107		1.47				
2					玉石混り砂礫	茶褐色	密なく非常に密な		径80mm以下の亜角〜角礫を主体とし、実測径約150〜200mmの玉石が混入する。礫間充填物は、細〜粗粒な不均一砂および少量のロームより構成される。		2.15	50/2		50/2	750		2.15	2-2	○		
3									玉石は、長さ15〜20cm程の棒状コアで採取される。		2.29						2.29				
4									深度5.30m付近は、礫間充填物であるロームの混入量が多い。		3.00						3.02	2-3	Ⓐ		
5									全体的に掘削水の逸泥が激しい。		3.02						3.50				
6											4.15	19	18	13/2	50/22	68	4.15	2-4	○		
7											4.37						4.37				
8											5.15	12	8	10	30/30	30	5.15	2-5	○		
9											5.45	50/4					5.45				
10											6.10						6.14	2-6	Ⓐ		
11											6.14						6.50				
12											7.15	10	11	12	33/30	33	7.15	2-7	○		
	513.99	6.00	7.50								7.45						7.45				

ボーリング柱状図

調 査 名 交流センターセンターゾーン建設工事実施設計業務委託

ボーリングNo.									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業・工事名 (地質調査業務)

シートNo.

調 査 名	B-No. 3	調 査 位 置	静岡県 御殿場市 萩原 字 林頭 988-1 外			北 緯	—————					
発 注 機 関	御殿場市役所			調 査 期 間	平成 18年 5月 18日 ~ 18年 5月 19日		東 経	—————				
調 査 業 者 名	株式会社 桂設計 電話 (03-3269-6411)	主任技師	山西正朗		現 場 代 理 人	小澤幸司	コ ア 鑑 定 者	小澤幸司	ボーリング責任者	後藤 浩		
孔 口 標 高	524.12m	角 度	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地 盤 勾 配	鉛 直 90° 水 平 0°	使用機種	試 錐 機	YBM-05H	ハンマー 落下用具	コーンブーリー
総 掘 進 長	7.18m							エンジン		NFD10	ポンプ	V-6.S

標 尺 (m)	層 高 (m)	厚 度 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔内水位(m) / 測定月日	標準貫入試験				原 位 置 試 験 深 度 (m)	試 験 名 および結果	試 料 採 取 深 度 (m)	試 料 採 取 方 法	室内試験 (月 日)	
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値						
523.82	0.30	0.30			表土	茶褐色			礫混りロームを主体とする。		1.15	1/8	2/15	1/7	4/30	4	1.15	3-1	○	
522.62	1.20	1.50			ローム質砂礫	茶褐色	非常にゆるい		径30mm以下の亜角~角礫を主体とし、礫間充填物は細~粗粒な不均一砂およびロームより構成される。	5/19 2.20	1.45	13	11	16	40/30	40	1.45	3-2	○	粒度試験
					玉石混り砂礫	茶褐色	密な / 非常に密な		径80mm以下の亜角~角礫を主体とし、実測径150~450mm程の玉石が混入する。礫間充填物は、細~粗粒な不均一砂および少量のロームより構成される。		2.45	50/6		50/6	250	2.45	3-3	Ⓐ		
					玉石混り砂礫	茶褐色	密な / 非常に密な		玉石は、長さ15~45cm程の棒状コアで採取される。		4.35	50/3		50/3	500	4.38	4.50	3-4	Ⓐ	
					玉石混り砂礫	茶褐色	密な / 非常に密な		深度6.00m付近は、礫間充填物である砂の混入量が多い。		5.25	13	37/9	50/19	79	5.25	5.44	3-5	○	
					玉石混り砂礫	茶褐色	密な / 非常に密な		全体的に玉石の混入量が多く、連続的に分布する。また、逸泥も激しい。		6.15	50/12		50/12	125	6.15	6.27	3-6	○	
516.94	5.68	7.18			玉石混り砂礫	茶褐色	密な / 非常に密な				7.15	50/3		50/3	500	7.15	6.50	3-7	Ⓐ	5/19

ボーリング柱状図

調 査 名 交流センターセンターゾーン建設工事実施設計業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名 (地質調査業務)

シートNo.

調 査 名	B-No. 6	調 査 位 置	静岡県 御殿場市 萩原 字 林頭 988-1 外			北 緯	—				
発 注 機 関	御殿場市役所			調 査 期 間	平成 18年 5月 19日 ~ 18年 5月 22日			東 経	—		
調 査 業 者 名	株式会社 桂設計 電話 (03-3269-6411)		主任技師	山西正朗		現 場 代 理 人	小澤幸司	コ ア 鑑 定 者	小澤幸司	ボーリング責任者	木伏 誠
孔 口 標 高	526.60m	角 度	180° 上 90° 下 0°	方 向	北 0° 270° 西 180° 90° 東 0° 南	地 盤 勾 配	鉛 直 90° 水 平 0° 0°	使 用 機 種	試 錐 機	KANO KR-100H	
総 掘 進 長	7.13m							ハンマー 落下用具	ポンプ	半自動落下 V-6.S	

標 尺 (m)	標 高 (m)	層 厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	孔 内 水 位 (m) / 測 定 月 日	標準貫入試験				原 位 置 試 験 深 度 (m)	試 験 名 および結果	試 料 採 取 深 度 (m)	試 料 採 取 方 法	室 内 試 験 ()	掘 進 日
											深 度 (m)	10cmごとの 打撃回数	打撃回数 / 貫入量 (cm)	N 値						
	526.30	0.30	0.30		表土	茶褐色			礫混りロームを主体とする。		1.15	1/20	1/12	2/32	2	1.15	6-1	○		
1					ローム質砂礫	茶褐色		非常にゆるい	径30mm以下の亜角~角礫を主体とし、礫間充填物は細~粗粒な不均一砂およびロームより構成される。深度1.30m以浅は、ロームの混入量が少ない。		1.47	15	30	5/1	50/21	71	1.47	6-1	○	
2	524.50	1.80	2.10		玉石混り砂礫	茶褐色		非常に密な	径80mm以下の亜角~角礫を主体とし、実測径120~150mm程の玉石が混入する。礫間充填物は、細~粗粒な不均一砂および少量のロームより構成される。	5/22 2.50	2.15	15	30	5/1	50/21	71	2.15	6-2	○	
3					玉石混り砂礫	茶褐色		非常に密な	径80mm以下の亜角~角礫を主体とし、実測径120~150mm程の玉石が混入する。礫間充填物は、細~粗粒な不均一砂および少量のロームより構成される。		3.35	14	18	18/6	50/26	58	3.35	6-3	○	
4					玉石混り砂礫	茶褐色		非常に密な	径80mm以下の亜角~角礫を主体とし、実測径120~150mm程の玉石が混入する。礫間充填物は、細~粗粒な不均一砂および少量のロームより構成される。		4.15	19	24	7/1	50/21	71	4.15	6-4	○	粒度試験
5					玉石混り砂礫	茶褐色		非常に密な	径80mm以下の亜角~角礫を主体とし、実測径120~150mm程の玉石が混入する。礫間充填物は、細~粗粒な不均一砂および少量のロームより構成される。		5.15	26	24/4	50/14	107	5.15	6-5	○		
6					玉石混り砂礫	茶褐色		非常に密な	径80mm以下の亜角~角礫を主体とし、実測径120~150mm程の玉石が混入する。礫間充填物は、細~粗粒な不均一砂および少量のロームより構成される。		6.20	50/4	50/4	375	375	6.20	6-6	Ⓐ		
7	519.47	5.03	7.13		玉石混り砂礫	茶褐色		非常に密な	径80mm以下の亜角~角礫を主体とし、実測径120~150mm程の玉石が混入する。礫間充填物は、細~粗粒な不均一砂および少量のロームより構成される。		7.05	50/8	50/8	188	188	7.05	6-7	Ⓐ		
8											7.13					7.00				